

事業名 生涯学習実践研修「地域・家庭・学校・行政を結ぶ人づくり・まちづくり研修会～若者が育つ地域づくり～」

趣 旨 地域の特性を生かし、地域・家庭・学校・行政を結んだ生涯学習による人づくり・地域づくりを進める仕組みづくり等に関する実践的な研修を通して、企画力・運営力の向上を図る。

実施主体 新潟県立生涯学習推進センター

参加対象 市町村生涯学習・社会教育関係職員、小学校・中学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校の教職員、青少年教育施設・博物館・図書館等職員、PTA役員、及び青少年団体のリーダー等

参加者数 延べ 159名 回数 3回 日数 4日 時間 20時間

場 所 新潟県立生涯学習推進センター大研修室

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月11日(月) 10:30～16:00	若者の地域活動の充実と活性化の方策	事例発表者 「地域教育推進ネットワーク東京都協議会の取組み」 東京都教育庁生涯学習部計画課計画係 梶野光信 「『子どもの居場所づくり』と若者」～渋谷ファンインの取組～ 渋谷区青少年教育コーディネーター・渋谷ファンイン 事務局 相川良子 「きっかけひとつで若者が変わる」～NPOスクールアドバイスネットワークの取組～ NPOスクールアドバイスネットワーク理事長・東京都生涯学習審議会委員・杉並区学校教育コーディネーター 生重幸恵
	内容・方法	○若者を対象とした事業への参加者が少ない理由や企画することの必要性をはじめとして、仕組みづくりの理論と実践について説明を行った。 ○午後は、各自の課題によるグループ編成、ワークショップを実施した。その後、各グループの取り組みの発表と各自の感想発表を実施した。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	8月8日(水)～8月9日(木)10:30～16:00	若者が育つ仕組みづくり	講師 千葉大学教育学部教授 明石要一

	内容・方法	<p>○1日目の研修1では、配布資料「子どもと親の変化に対応した地域づくり」をもとに、様々な視点（雑学も含め）から、「若者が育つ地域づくり」のための基本的なことを押さえた。</p> <p>○2日目の研修2では、ワークショップを実施した。着創、企画力、運営力を付けるため、1日分の新聞をグループで読み、その中の記事から「若者が育つ地域づくり」のヒントを探し、それを基に、若者を対象とした事業企画を行った。後半では、グループごとに企画発表を実施し、講師からの指導を得た。</p>		
3	期日・時間	テーマ	講師等	
	11月29日(木) 10:30～16:00	県内の実践事例に学ぶ	講師 えにし屋 清水義晴・清水隆太郎 事例発表者 「中学校区を基盤としたネットワークづくりに向けて」 城北中学校区子どもを育てる会事務局長 山岸 賢一 「子どもは地域の宝もの集落ふれあい人づくり事業の取組」 長岡市教育委員会小国分室長補佐 山田 典子 長岡市小国町千谷沢集落総代 田辺 英夫 「高校生ボランティアによる公民館事業へのサポート活動の取組」 ～阿賀町公民館サポーターズクラブについて～ 阿賀町教育委員会社会教育課社会教育主事 阿部 正人	
	内容・方法	<p>○研修1事例発表では、配布資料の活用と説明内容の焦点化等の工夫により、効果的に行った。講師配布資料「若者を集めるのに、特効薬はない。」をもとに、若者を集める様々な視点や基本的なことを押さえた。</p> <p>○研修2ワークショップ・発表では、「若者が育つレシピ」（材料・味付け・盛り付け）づくりを行った後、全員の感想発表も含め一班3分で発表を実施した。</p>		

成 果 ・ 受講者のアンケート集計結果や講師の話から、若者に焦点を当てた取組（仕組みづくり）の重要性と継続していく必要性を強く感じた。来年度以降も行政職員や学校職員の意識や地域人材の掘り起こしを目指して継続実施していきたい。

課 題 ・ 上・中・下越教育事務所からの情報提供により、県内の事例発表（上・中・下越地区各1事例）を取り上げた。内容も素晴らしく、事業を企画するためのヒントや視点も具体的であった。来年度も是非、この方法（事務所からの情報提供等）を生かしたい。

問合せ先 新潟県立生涯学習推進センター学習振興課(担当 若月信久)
TEL：025-284-6110